

財産目録

平成 29 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	30,000		
	預金	当座預金 滋賀県信用組合土山支店	運転資金として	1,836,788		
		普通預金 滋賀銀行土山支店	運転資金として	30,000		
		普通預金 滋賀県信用組合土山支店	運転資金として	2,573,334		
	未収入金	施設利用料以下4件		391,576		
流動資産合計				4,861,698		
(固定資産)	基本財産	定期預金 滋賀県信用組合土山支店	運用益を公益目的事業50%、法人運営50%の財源として利用している。	10,000,000		
		定期預金 甲賀農業協同組合土山支店	運用益を公益目的事業50%、法人運営50%の財源として利用している。	10,000,000		
		定期預金 滋賀銀行土山支店	運用益を公益目的事業50%、法人運営50%の財源として利用している。	10,000,000		
		定期預金 関西アーバン銀行水口支店	運用益を公益目的事業50%、法人運営50%の財源として利用している。	10,000,000		
		定期預金 湖東信用金庫水口支店	運用益を公益目的事業50%、法人運営50%の財源として利用している。	10,000,000		
		定期預金 近畿労働金庫水口支店	運用益を公益目的事業50%、法人運営50%の財源として利用している。	10,000,000		
		定期預金 ゆうちょ銀行	運用益を公益目的事業50%、法人運営50%の財源として利用している。	10,000,000		
		定期預金 京都銀行水口支店	運用益を公益目的事業50%、法人運営50%の財源として利用している。	5,000,000		
		其他固定資産	車両運搬具	ムーブ1台	公益目的事業88.1%、収益事業及び法人運営11.9%の用に供している。	8,594
			什器備品			2
	固定資産合計				75,008,596	
	資産合計				79,870,294	
(流動負債)	未払金 預り金	八日市瓦斯株式会社以下18件		1,871,290		
		雇用保険料		14,985		
		源泉所得税		54,214		
		社会保険料		335,323		
		甲賀広域勤労者互助会会費		1,800		
		住民税		82,540		
流動負債合計				2,360,152		
負債合計				2,360,152		
正味財産				77,510,142		

貸借対照表
平成 29 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,470,122	3,011,711	1,458,411
未収入金	391,576	326,342	65,234
流動資産合計	4,861,698	3,338,053	1,523,645
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	75,000,000	75,000,000	0
基本財産合計	75,000,000	75,000,000	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	8,594	17,182	△ 8,588
什器備品	2	2	0
その他の固定資産合計	8,596	17,184	△ 8,588
固定資産合計	75,008,596	75,017,184	△ 8,588
資産合計	79,870,294	78,355,237	1,515,057
II 負債の部			
流動負債			
未払金	1,871,290	2,050,865	△ 179,575
預り金	488,862	550,510	△ 61,648
流動負債合計	2,360,152	2,601,375	△ 241,223
負債合計	2,360,152	2,601,375	△ 241,223
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	75,000,000	75,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(75,000,000)	(75,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
指定正味財産合計	75,000,000	75,000,000	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産	2,510,142	753,862	1,756,280
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	77,510,142	75,753,862	1,756,280
負債及び正味財産合計	79,870,294	78,355,237	1,515,057

正味財産増減計算書

平成 28 年 4 月 1 日 から 平成 29 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	15,532	22,306	△ 6,774
基本財産受取利息	15,532	22,306	△ 6,774
事業収益	79,371,350	75,749,535	3,621,815
施設管理受託事業収益	56,856,000	53,970,000	2,886,000
施設利用料収益	2,232,750	2,310,585	△ 77,835
自主事業収益	20,282,600	19,468,950	813,650
受取補助金等	6,314,000	4,900,000	1,414,000
受取補助金	4,800,000	3,000,000	1,800,000
事業受託収益	1,514,000	1,900,000	△ 386,000
受取寄付金	7,050,000	7,086,000	△ 36,000
受取寄付金	7,050,000	7,086,000	△ 36,000
雑収益	686,392	613,068	73,324
受取利息	0	26	△ 26
雑収益	686,392	613,042	73,350
経常収益計	93,437,274	88,370,909	5,066,365
(2) 経常費用			
事業費	90,764,841	87,262,272	3,502,569
給料手当	33,465,527	33,717,884	△ 252,357
賃金	1,064,105	1,635,041	△ 570,936
福利厚生費	6,115,958	6,127,020	△ 11,062
諸謝金	10,034,294	7,926,391	2,107,903
旅費交通費	627,640	625,450	2,190
通信運搬費	984,567	1,082,212	△ 97,645
手数料	796,119	707,588	88,531
消耗品費	1,821,455	1,632,564	188,891
印刷製本費	2,725,921	2,015,818	710,103
委託費	14,957,253	15,925,761	△ 968,508
賃借料	3,325,845	3,547,483	△ 221,638
租税公課	1,077,779	313,788	763,991
燃料費	755,094	554,474	200,620
光熱水費	7,323,854	7,290,648	33,206
修繕費	2,225,913	257,611	1,968,302
食料費	1,802,987	2,167,580	△ 364,593
保険料	840,433	937,601	△ 97,168
原材料費	50,000	16,848	33,152
負担金	761,560	771,973	△ 10,413
減価償却費	8,537	8,537	0
管理費	843,953	1,268,122	△ 424,169
給料手当	88,782	87,638	1,144
福利厚生費	14,919	14,319	600
旅費交通費	2,980	0	2,980
交際費	592	74,538	△ 73,946
会議費	2,880	2,880	0
通信運搬費	16,836	16,236	600
手数料	53	40	13
消耗品費	134	66	68
印刷製本費	149	0	149
委託費	712,800	1,069,200	△ 356,400
賃借料	948	1,020	△ 72
租税公課	221	112	109
燃料費	181	191	△ 10
減価償却費	51	51	0
修繕費	968	617	351
保険料	787	479	308
負担金支出	672	735	△ 63
経常費用計	91,608,794	88,530,394	3,078,400
評価損益等調整前当期経常増減額	1,828,480	△ 159,485	1,987,965
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,828,480	△ 159,485	1,987,965
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
車両運搬具除却損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,828,480	△ 159,485	1,987,965
法人税、住民税及び事業税	72,200	72,200	0
当期一般正味財産増減額	1,756,280	△ 231,685	1,987,965
一般正味財産期首残高	753,862	985,547	△ 231,685
一般正味財産期末残高	2,510,142	753,862	1,756,280
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	15,532	22,306	△ 6,774
一般正味財産への振替額	△ 15,532	△ 22,306	6,774
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	75,000,000	75,000,000	0
指定正味財産期末残高	75,000,000	75,000,000	0
III 正味財産期末残高	77,510,142	75,753,862	1,756,280

正味財産増減計算書内訳表
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	内閣取引消去	合計
	文化・体育振興 七園工事事業	共通	小計	公益目的の事業の 終了及び管理費等費	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. (1) 経常収益									
経常収益	7,766	0	7,766	0	0	7,766	0	0	15,532
基本財産受取利息	60,876,470	0	60,876,470	18,494,880	0	79,371,350	0	0	79,371,350
施設管理委託事業収益	40,292,070	0	40,292,070	16,863,930	0	57,156,000	0	0	57,156,000
施設利用料収益	20,301,800	0	20,301,800	1,930,950	0	22,232,750	0	0	22,232,750
受取補助金	4,800,000	0	4,800,000	0	0	4,800,000	0	0	4,800,000
受取寄付金	7,050,000	0	7,050,000	0	0	7,050,000	0	0	7,050,000
雑収益	0	0	0	686,392	0	686,392	0	0	686,392
経常収益計	74,248,236	0	74,248,236	19,151,272	0	93,399,508	0	0	93,399,508
(2) 経常費用									
給料手当	73,510,219	0	73,510,219	17,954,629	0	91,464,848	0	0	91,464,848
賞与	26,293,592	0	26,293,592	7,171,935	0	33,465,527	0	0	33,465,527
福利厚生費	532,053	0	532,053	532,052	0	1,064,105	0	0	1,064,105
諸謝金	4,717,827	0	4,717,827	1,398,131	0	6,115,958	0	0	6,115,958
旅費交通費	616,667	0	616,667	0	0	616,667	0	0	616,667
通信運搬費	925,555	0	925,555	69,985	0	995,540	0	0	995,540
手数料	786,321	0	786,321	9,798	0	796,119	0	0	796,119
印刷製本費	1,521,035	0	1,521,035	29,820	0	1,550,855	0	0	1,550,855
委託費	12,460,617	0	12,460,617	2,406,636	0	14,867,253	0	0	14,867,253
賃借料	3,187,322	0	3,187,322	138,523	0	3,325,845	0	0	3,325,845
租税公課	834,195	0	834,195	243,584	0	1,077,779	0	0	1,077,779
燃料費	671,962	0	671,962	83,132	0	755,094	0	0	755,094
光熱水費	2,899,092	0	2,899,092	4,424,762	0	7,323,854	0	0	7,323,854
食料費	2,052,639	0	2,052,639	173,274	0	2,225,913	0	0	2,225,913
保険料	1,802,987	0	1,802,987	196,534	0	1,999,521	0	0	1,999,521
賃借料	643,899	0	643,899	0	0	643,899	0	0	643,899
固定資産減価償却費	50,670	0	50,670	0	0	50,670	0	0	50,670
雑費用	740,880	0	740,880	12,680	0	753,560	0	0	753,560
管理費	7,567	0	7,567	970	0	8,537	0	0	8,537
給料手当	0	0	0	0	0	0	843,953	0	843,953
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	88,782	0	88,782
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	14,919	0	14,919
会議費	0	0	0	0	0	0	2,890	0	2,890
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	592	0	592
教育費	0	0	0	0	0	0	2,880	0	2,880
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	16,836	0	16,836
委託費	0	0	0	0	0	0	53	0	53
賃借料	0	0	0	0	0	0	14	0	14
燃料費	0	0	0	0	0	0	14	0	14
租税公課	0	0	0	0	0	0	712,800	0	712,800
燃料費	0	0	0	0	0	0	221	0	221
減価償却費	0	0	0	0	0	0	181	0	181
保険料	0	0	0	0	0	0	968	0	968
雑費用	0	0	0	0	0	0	787	0	787
経常費用計	73,510,219	0	73,510,219	17,264,629	0	90,774,848	0	0	90,774,848
経常増減差額	738,017	0	738,017	1,926,650	0	1,828,480	0	0	1,828,480
経常増減差額	738,017	0	738,017	1,926,650	0	1,828,480	0	0	1,828,480
2. 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正味財産増減の部	738,017	0	738,017	1,926,650	0	1,828,480	0	0	1,828,480
正味財産増減の部	738,017	0	738,017	1,926,650	0	1,828,480	0	0	1,828,480
II 指定正味財産増減の部									
指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産増減の部									
正味財産増減の部	738,017	0	738,017	1,926,650	0	1,828,480	0	0	1,828,480
正味財産増減の部	738,017	0	738,017	1,926,650	0	1,828,480	0	0	1,828,480

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
車両運搬具及び什器備品については、定率法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	75,000,000	0	0	75,000,000
合 計	75,000,000	0	0	75,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	75,000,000	(75,000,000)	(0)	—
合 計	75,000,000	(75,000,000)	(0)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,231,650	1,223,056	8,594
什器備品	580,320	580,318	2
合 計	1,811,970	1,803,374	8,596

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
運営補助金(受取補助金)	甲賀市	0	4,800,000	4,800,000	0
運営補助金(事業受託収益)	甲賀市	0	1,514,000	1,514,000	0
合 計		0	6,314,000	6,314,000	0

1 事業の概要

平成28年度は、「公益財団法人」として、文化スポーツ振興において多くの方の利益増進に寄与するため、より地域に密着した文化スポーツ事業企画と健全な財団運営に努めてまいりました。『心ふれあう豊かな人間性を育む地域社会の創造に寄与する』ことを目的に、公正かつ誠実な財団経営と住民の皆様に愛され、信頼される財団となるよう積極的な事業展開を図りました。

また、指定管理者として『あいの土山文化ホール』をはじめ、『土山運動場』、『土山室内運動場』、『土山体育館』、『土山テニスコート』、それぞれの施設の特徴を活かした効率的な利用を図るとともに、市行政と緊密な連携を保ちつつ、効果的で公益的な事業展開に努めてまいりました。

1 公益目的事業

(1) 文化・スポーツ振興に関する事業

① 文化振興事業

文化事業について、市民の文化意識の向上を図り、誰もが幅広く文化芸術を楽しみ、親しみを感じていただけるホールをめざして毎年開催している、学校芸術鑑賞会として「中国雑技団」をはじめ、70年代に一世を風靡した懐かしい青春ポップスライブ「庄野真代クリスマスLIVE」、そして弦楽コンサートを開催しました。また「ピアノの魅力発見事業」と題して、ピアノをツールとして、スイングジャズをベースに陽気で愉快的な「Clap Stomp Swingin」の開催およびピアノフリーレッスンを実施し当ホールの知名度アップ、ピアノ文化の底辺拡大を図りました。また、本年度よりピアノ演奏者を募り、リレー形式で演奏を繋いでいく住民参加型の「ピアノリレーコンサート」を開催しました。

② 鈴鹿馬子唄全国大会の開催

古くから唄い継がれている鈴鹿馬子唄の伝承と保存及び普及を図るため、第25回鈴鹿馬子唄全国大会を開催しました。一般の部および中学生以下の子どもを対象とした少年少女の部に、全国から132人(一般の部101人、少年少女の部31人)の参加申込をいただきました。

また、本年度は一般の部において地元甲賀市の田中千鶴さんが総合優勝されました。

③ 鈴鹿馬子唄学習塾の開催

地域に根ざした伝統芸能である「鈴鹿馬子唄」を、次世代を担う子供たちに伝承していくために、民謡歌手の成世昌平先生の指導により、土山町内の小中学生を対象に年間2回の「馬子唄学習塾」を開催しました。

④ 文化事業の企画制作、技術支援

あいこうか市民ホールをはじめとして市内の文化ホールにおいて、市域を視野に入れた多くの文化事業等の企画制作およびホール利用にかかる舞台技術支援を行いました。

⑤ あいの土山齋王群行の共催

甲賀市が持つ独自の文化と貴重な情報を市内外に発信し、伝統文化を守り育てるため、地元の齋王群行実行委員会との共催により開催しました。当日は好天に恵まれ、多くの来場者があり、昨年に引き続き垂水齋王頓宮址まで群行を進めることができました。

⑥あいの土山マラソンの開催

まちづくり、ひとづくりをテーマとし、地域の活性化を図るため、2016あいの土山マラソンを日本陸上競技連盟公認のあいの土山マラソンコースでマラソン・ハーフマラソンの部により開催いたしました。本年度も昨年に引き続き、地元食材を活用した豚汁の無料提供を行い、ランナーだけでなく多くの来場者に大変喜んでいただけました。

応募者数は、近年のランニングブームにより3,389人でした。

⑦スポーツ教室の開催

子ども対象のダンス教室を、新規受講者の初級クラスと継続受講者の中級クラス、上級クラスの3教室開催しました。また、健康増進や体力向上を目指した一般対象のスポーツ教室として「NATURAL YOGA 教室」を、60歳以上対象「シニアヨガ」と一般対象「リラックスヨガ」「スローフローヨガ」の3教室開催しました。

また、甲賀市スポーツ指導員を講師として招き、健康維持と身体の機能改善のため、「はつらつからだほぐし体操教室」を開催しました。

⑧スポーツ活動の調査・検証

老若男女問わず健康増進や体力の向上を目的とし、“こころ”と“からだ”の健全なライフスタイルを実現できるよう、施設の利用者や事業の参加者からアンケート等の調査を行うとともに、「あいの土山スポーツ振興事業検証委員会」により、事業の公益性を確保し、誰もが気軽に取り組める事業実施につなげるよう、検討を行いました。

(2) 施設の貸与及び管理運営事業

文化振興事業を行う上で、指定管理者となっているあいの土山文化ホールの維持管理業務を受託し、文化芸術活動を行う個人および団体へ施設の貸与を行うことを通じて、文化活動の振興を図りました。また、公益目的（文化事業）での利用については、公演本番時の付帯設備料金を半額にすることにより公益目的利用の優遇を図っています。

貸館時の舞台運営は、貸館に付随して職員自らが専門の舞台技術者として、プランや操作など表現に関わる業務を行っています。

2 収益事業

公益目的以外の施設の貸与及び管理運営事業

文化振興事業およびスポーツ振興事業を行う上で文化施設としてあいの土山文化ホール、体育施設として土山運動場、土山体育館、土山室内運動場、土山テニスコートの維持管理業務を受託し、市民に施設の貸与を行うことを通じて、施設利用者等へのサービスの向上に努めるとともに、施設利用の促進及び施設利用者の便宜を図るよう努めています。

■施設管理受託事業報告■

施設利用状況(平成27. 4. 1~28. 3. 31)

①文化施設

施設別利用状況

[あいの土山文化ホール]

月	利用件数		利用人数	
	27年度	28年度	27年度	28年度
4月	2	3	110	135
5月	4	4	750	418
6月	4	10	240	260
7月	9	7	298	284
8月	5	7	292	229
9月	5	5	255	105
10月	2	7	20	637
11月	7	9	1,270	1,610
12月	7	7	640	910
1月	8	9	133	354
2月	7	7	131	44
3月	9	2	452	550
合計	69	77	4,591	5,536

28年度 (貸館、自主事業、他事業等含む全ての利用)

開館日数	利用日数
26	14
23	12
26	24
27	16
24	15
26	16
26	16
25	21
24	17
24	18
24	14
27	15
302	198

貸館稼働率
25.50%
会館稼働率
65.56%

※自主事業での利用は含みません。

目的別利用状況

[あいの土山文化ホール]

区分	利用件数		利用人数	
	27年度	28年度	27年度	28年度
会議	11	6	130	59
研修会	12	22	855	1,080
音楽	21	17	1,733	1,350
総会・式典	1	2	300	750
古典芸能	4	0	198	0
講演会	2	3	100	720
その他	18	27	1,275	1,577
合計	69	77	4,591	5,536

※自主事業での利用は含みません。

②体育施設

施設別利用状況

[土山運動場]

月	利用件数		利用人数	
	27年度	28年度	27年度	28年度
4月	14	16	602	492
5月	17	19	2,200	1,945
6月	9	15	1,589	630
7月	13	19	1,410	550
8月	17	11	585	375
9月	14	15	1,895	983
10月	22	17	750	1,039
11月	19	7	514	780
12月	11	8	315	1,470
1月	10	3	213	90
2月	9	6	360	280
3月	14	13	465	496
合計	169	149	10,898	9,130

28年度	
開場日数	利用日数
26	10
26	15
26	14
27	16
26	10
26	11
23	13
20	7
24	8
24	3
24	6
27	13
299	126

※10/28～11/7は
土山マラソン準備期間
の為、利用不可

会場稼働率
42.14%

[土山室内運動場]

月	利用件数		利用人数	
	27年度	28年度	27年度	28年度
4月	53	39	1,135	881
5月	52	42	1,052	1,004
6月	49	55	1,007	1,345
7月	56	51	1,179	1,375
8月	47	34	1,027	863
9月	60	47	1,229	1,940
10月	39	38	908	1,451
11月	47	37	1,072	1,073
12月	47	41	929	1,672
1月	50	53	1,065	1,165
2月	54	46	1,107	1,027
3月	50	49	1,137	1,166
合計	604	532	12,847	14,962

28年度	
開場日数	利用日数
26	24
26	26
26	25
27	25
26	22
26	27
23	20
20	18
24	22
24	22
24	23
27	25
299	279

※10/28～11/7は
土山マラソン準備期間
の為、利用不可

会場稼働率
93.31%

[土山体育館]

月	利用件数		利用人数	
	27年度	28年度	27年度	27年度
4月	29	31	1,793	1,384
5月	32	35	2,292	2,881
6月	54	34	3,688	1,821
7月	35	31	1,738	958
8月	39	36	467	640
9月	26	29	1,786	1,390
10月	22	37	1,209	2,118
11月	30	28	1,717	2,310
12月	39	36	1,680	1,595
1月	36	25	2,037	1,454
2月	25	24	1,145	1,129
3月	36	20	3,951	1,933
合計	403	366	23,503	19,613

28年度	
開館日数	利用日数
26	27
26	26
26	27
27	26
26	26
26	23
23	26
20	24
24	26
24	20
24	24
27	15
299	290

※10/28～11/7は
土山マラソン準備期間
の為、利用不可

会場稼働率
96.99%

[土山テニスコート]

月	利用件数		利用人数	
	27年度	28年度	27年度	28年度
4月	6	5	25	20
5月	10	9	46	40
6月	10	16	245	286
7月	2	4	4	26
8月	4	6	44	15
9月	9	6	40	17
10月	3	8	84	21
11月	3	2	6	4
12月	3	3	6	9
1月	5	1	10	3
2月	2	1	3	2
3月	2	6	8	26
合計	59	67	521	469

28年度	
開場日数	利用日数
26	5
26	6
26	13
27	3
26	6
26	4
26	6
26	2
24	2
24	1
24	1
27	5
308	54

会場稼働率
17.53%

※27年度より土山中学校部活・体育授業利用申請分を含む。

■事業報告(計画と実績の対比)■

[文化振興事業]

事業名		期間	事業の概要			備考
①-1 ピアノの魅力発見事業	計画	6~12月	ピアノをツールとして、ポピュラー音楽を気軽に楽しんでもらう、音楽への親しみを深めていただくことを目的として開催する。			あいの土山文化ホール
	実績	期日	事業名	入場料	入場者数	販売枚数(当日)
		7/2(土)	Clap Stomp Swingin'atつちやま	1,000 小学生以上有料	168 (うち招待27)	149(29)
	スイングジャズをベースに、様々なジャンルを内包した奇想天外なアレンジで独自の世界を展開、楽しいスイングにしてのコンサート					
	計画	10~2月	ピアノに携わる方を対象に、ホールでの発表・交流・刺激となる機会を提供し、ピアノの名器スタインウェイピアノの魅力に触れていただける参加型のコンサート。音楽の楽しさ、親しみを感じていただけるホールを目指し、市民の文化への意識向上を図る。			あいの土山文化ホール
	実績	期日	事業名	出演料・出演者数	入場者数	
		11/27(日)	ピアノリレーコンサート	1,000/1枠 32枠 30組(34名)	のべ200人	
	音楽愛好家により繰り広げられる。ショパン、ベートーベン、ドビュッシー等のピアノ曲やバイオリン・フルートとの協奏曲などピアノ主役の音のリレーコンサート					
	計画	通年	あいの土山文化ホールに常設されている名器スタインウェイピアノを安価で気軽にご利用いただくことにより、当ホールの知名度アップおよびピアノ文化の底辺拡大を図る。			あいの土山文化ホール
	実績	期日	事業名	利用料	利用人数	
年間58日 (134時間)		ピアノ・フリーレッスン	1,000/1時間 (空調利用1,000増)	68件 174人		
ピアノ練習希望者によるスタインウェイピアノの弾き込み。(事業開催日を除く)						
①-2 コンサートの開催	計画	8月	音楽の身近な楽しさ、親しみをより深めていただくため、例年好評をいただいている関西フィルのバイオリン奏者の藤原利佳さんを中心とするメンバーによる演奏会を開催する。			森林文化ホール
	実績	期日	事業名	入場料	入場者数	販売枚数
		8/28(日)	サロンコンサートVOL. 15 モーツァルトとベートーヴェン ~ウィーンで開花した形式美~	500	96 (うち招待10)	90
バイオリニスト藤原利佳さんを中心に、6人による弦楽コンサート						
①-3 芸能公演の開催	計画	10~12月	幅広い年齢層が家族で楽しめる事業を開催する。 (案:ファミリーコンサート、お笑い寄席等)			あいの土山文化ホール
	実績	期日	事業名	入場料(当日)	入場者数	販売枚数(当日)
		12/17(日)	庄野真代クリスマスLIVE inあいのつちやま	一般3,000(3,500) 18歳以下・65歳以上 2,500(3,000)	156 (うち招待15)	150(0)
1970年代に一世を風靡したなつかしい青春ポップスを、変わらない美しい歌声を当ホール至宝スタインウェイピアノの伴奏に乗せて、エキゾチックなムードと軽やかなポップサウンドで送るアコースティックライブ。						

事業名		期間	事業の概要			備考
①-4 学校鑑賞会の 開催	計画	11月	小・中学生のための芸術鑑賞会を実施する。			あいの土山 文化ホール
	実績	期日	事業名	鑑賞料	入場者数	販売枚数
		11/16(水)	中国雑技団	1,200 (個人負担は一部)	451	341
雑技、変面など、テレビやCM等で出演のメンバーがおなじみのポーズを披露。また実際に芸や技に触れていただく体験コーナーもあった。						
②鈴鹿馬子唄 全国大会の開催	計画	6/19(日)	古くから歌い継がれている鈴鹿馬子唄を地域の無形文化財として継承・保存するだけでなく、技術の研鑽、普及、人材育成へと広がりを持たせるために全国大会を開催する。			あいの土山 文化ホール
	実績	期日	第25回鈴鹿馬子唄全国大会	参加料	申込者数	来場者数
		6/19(日)	一般の部 少年少女の部	3,000 無料	101 31	のべ400人
③鈴鹿馬子唄 学習塾の開催	計画	5月・2月	古くから歌い継がれている鈴鹿馬子唄の継承・保存と技術の研鑽、普及、人材育成を図るために催す。			町内 各小中学校
	実績	期日				
		5/18(水)、19(木) 2/22(水)、23(木)、24(金)	鈴鹿馬子唄学習塾(小学生) 鈴鹿馬子唄学習塾(小学生・中学生)			
④文化事業企 画制作・技術支 援	計画	随時	市域を視野に入れた文化事業の企画制作、市内ホールの技術支援。			市内 文化ホール等
	実施	随時	あいこうか市民ホール等市内文化ホールにおいて、文化振興係職員が企画された事業の実施支援およびあいこうか市民ホール館長の依頼により貸館時の技術支援を行った。			
⑤あいの土山 斎王群行 (同実行委員会 と共催)	計画	3月	日本に唯一残る貴重な国史跡の垂水頓宮の歴史に学び、886年～1264年まで、31代の斎王が土山を通っていた「斎王群行」を再現し、土山の持つ独特な文化と、貴重な遺産を町内外に発信するために、地元の斎王群行実行委員会と共催により開催する。			大野小学校～ 垂水斎王頓宮 跡
	実績	3/19(日)	好天に恵まれ、お発ち会場の大野小学校前庭から、途中2箇所 の休憩所を経て、お着き会場の垂水斎王頓宮跡まで多くの観客 とともに群行することができ、全行程を予定通り終了した。			出演者 約75人 来場者 約500人

[スポーツ振興事業]

事業名		期間	事業の概要				備考
⑥あいの土山マラソン	計画	11/6(日)	まちづくり、人づくりをテーマに掲げ地域の活性化対策として昭和62年度より実施、今回で30回目を迎える。				土山体育館周辺～マラソンコース
	実績	11/6(日)	種目	スタート時間	参加料	申込者数	完走者数
			男子マラソン	10:30	5,000	1,418 (内招待1)	1,104
			ハーフマラソン	10:50	5,000	1,456 (内招待2)	1,256
			女子マラソン	10:25	5,000	155 (内招待1)	129
ハーフマラソン	10:45	5,000	360 (内招待2)	322			
⑦-1 ダンス教室	計画	5月～3月 毎週水曜日 全40回	ヒップホップのダンスとリズムで心と体を弾ませ、子どもらしいしなやかな身体とリズム感を身につけることを目的に小学生を対象としたヒップホップダンス教室を開催。				【通常レッスン】 あいの土山文化ホール リハーサル室
	実績	期日	事業名	参加料	受講者数 3月末現在	【発表会】 あいの土山文化ホール	
		5月～3月 毎週水曜日 全40回 3月4日発表会	「土山ジュニアダンススクール」 (ヒップホップダンス教室)	2,000/月	初級クラス 15人 中級クラス 14人 上級クラス 20人		
基礎となる体幹トレーニング等やリズムに合わせてHIP HOPのステップを入れたレッスン。3月にはおさらい会として舞台での発表会を実施した。リズム感・体力・柔軟性が自然と養われている。							
⑦-2 ヨガ教室	計画	4月～3月 毎週金曜日 全48回	老若男女問わず、健康増進、体力の向上を目的とし、心身ともに健やかなライフスタイルを実現できるよう、ヨガ教室を開催する。				あいの土山文化ホール リハーサル室
	実績	期日	事業名	参加料	受講者数 3月末現在		
		4月～3月 毎週金曜日 全48回	「シニアヨガ教室」60歳以上 「リラックスヨガ教室」一般対象 「スローフローヨガ教室」一般対象	3,000/月 4,000/月 4,000/月	14 9 2		
ゆったりとした呼吸を繰り返しながら、ポーズをとることによりインナーマッスルを鍛え、自律神経のバランスを整えるトレーニング。							
⑦-3 体操教室	計画	12月～2月	ストレス社会の中、体を動かす機会の少ない市民の健康づくりのため、市民の健康増進や体力向上を目的として、60歳以上の方を対象としたスポーツ教室を開催する。				土山体育館 会議室
	実績	期日	事業名	参加料	申込者数		
		12月～2月 全8回	「はつらつからだほぐし体操教室」	2,400 (1回300)	19人		
甲賀市スポーツ指導員を講師に、ストレッチで健康増進し、バランスボールで筋力維持を計る簡単で無理のない体操教室。							
⑧スポーツ活動の調査・検証	計画	通年	スポーツ振興事業の公益性を確保するために、地域住民からアンケートの調査を行うとともに、検証委員会により、教室等の事業が目的達成のための取組となっているかを検証し、効果的、公益的な事業実施につなげる。				文化・体育施設利用者、事業参加者等
	実績	3/29(水)	老若男女問わず健康増進や体力向上を目的とし、健全なライフスタイルを実現できるよう、教室等の事業が目的達成のための取組となっているかを検証し、だれもが気軽に取り組めるような事業実施につなげる。				